



指宿市の取組

いぶすき学校応援団

本市では本事業を平成23年度から市内全小・中学校（小学校12校，中学校5校）を対象に実施しています。各学校に学校応援団協議会を設置し，地域と学校が相互に連携して効率的な運営に取り組んでいます。学校支援の旗振り役を担う地域コーディネーターについては，市主催の地域コーディネーター研修会を開催して資質の向上を図っています。



地域コーディネーター研修会

今年度は，11月17日（土）に開催した「市生涯学習フェスティバル2012」において，「『いぶすき学校応援団』の現状と今後の方向」をテーマにシンポジウムを行いました。学校，地域コーディネーター，ボランティアの3分野から代表者が登壇しました。事例発表の後，それぞれの立場から学校応援団の取組について，熱の入った意見交換がなされました。また，会場からも質問等が多く出され内容の充実したものになりました。このシンポジウムは，市民に学校応援団活動を広くPRできたこと，地域住民に学校支援ボランティアに対する参加意識を醸成できたことなど多くの成果を上げることができました。



活発な意見交換が
できた学校応援団
シンポジウム

今年も多くの
方々がボラン
ティアに携わ
りました！！



指宿まるごと博物館構想の推進

本市では，市全体を博物館ととらえ，市内にある文化財，自然，産業，郷土芸能，伝統技術，伝統行事，イベントなどのすべてを貴重な「展示品」と位置づけて，それらをまちづくりに活かしていく考え方や実践を，「指宿まるごと博物館」として推進しています。社会教育課文化係では，「指宿まるごと博物館」の実現に向けて，「展示品」に関する情報の収集・整理・公開に努めています。

平成21年度から，博物館の企画展は「指宿まるごと博物館」に関連するものを展示し，今年度で4回目になります。また，学校への浸透を図るため，教頭会や校長会で毎年説明し，学習支援をするとともに「指宿まるごと博物館」の素材を教育活動に活かしてもらっています。

平成23年度からは，博物館を中心とした観光振興・地域活性化のために，ミュージアム活性化事業に取り組み，実行委員会が積極的な事業を展開しています。実行委員会が行っている主な事業の概要は，

- ・「指宿いにしえ絵巻作成事業」～ 景勝地を子どもたちが描いて絵巻にして配布
- ・「指宿まるごと博物館ガイド育成事業」～ まち歩きガイドの育成
- ・「指宿まるごと博物館ムービープロジェクト」～ いぶすき風土記，幕末物語の映像化
- ・「指宿まるごと博物館ふるさとの伝承・昔話」～ 紙芝居等の作成と教材化
- ・「指宿まるごと博物館写真展事業」～ 市民に写真の提供を呼びかけ，明治から昭和までの写真を展示などです。

私たちの周りには，当たり前すぎて気付かない素晴らしい素材があります。地域の歴史と文化を知ることで，地域に対する自信と誇りを持ってもらいたい。「指宿まるごと博物館」は，そういう素材をさまざまなことに活用しようという文化発信事業です。



指宿の歴史をDVD化！